

のぎわっ子

令和4年度 学校だより
 磐田市立東部小学校
 令和5年2月24日
 文責 主幹教諭・袴田 美穂

学校自己評価アンケート集計結果について

11月には、学校自己評価アンケートに御協力をいただき、誠にありがとうございました。今年度も、感染症予防に最大限努め教育活動を制限せざるを得ない中、「何ができるか」「どこまでできるか」「どうすればできるか」を考えながら「A:強く思う」の目標指標を掲げて取り組んできました。全体的に、肯定的な評価(A・B)が多い一方で、「A:強く思う」が減少する傾向が見られました。アンケートの集計結果の分析を基に、今年度の教育活動を振り返り、来年度の教育計画の編を編成していきます。

アンケート結果の中から、今年度の重点目標に関わるデータを中心に御報告させていただきます。



※4段階評価【A:強く思う B:そう思う C:あまり思わない D:まったく思わない】

集団としての力を培う「徳」「知」「体」

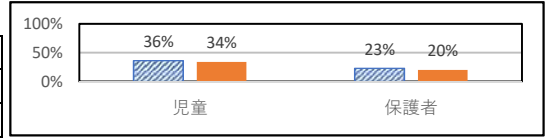
【徳育】自分・他者のことを考え温かな心でつながる。

※グラフは、【A:強く思う】 左が7月、右が11月です。

- ① 片付けや清掃に、一生懸命取り組んでいます。…「K」

	A	B	C	D
児童	34%	55%	9%	1%
保護者	20%	59%	20%	1%

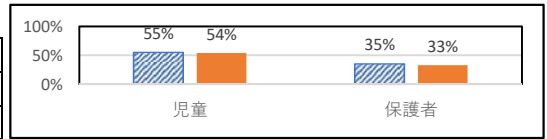
	7月	11月
A	36%	34%
	23%	20%



- ② ルールを守り、友達となかよく協力しています。…「T」

	A	B	C	D
児童	54%	41%	4%	1%
保護者	33%	62%	5%	0%

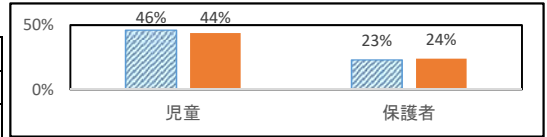
	7月	11月
A	55%	54%
	35%	33%



- ③ 進んで、あいさつやえしゃくができています。…「A」

	A	B	C	D
児童	44%	43%	11%	1%
保護者	24%	56%	19%	0%

	7月	11月
A	46%	44%
	23%	24%

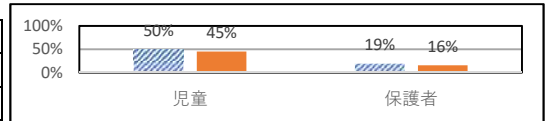


【知育】「わかった」「できた」「広がった」「深まった」の学びの実感を積み重ねる。

- ④ 授業で勉強している内容が分かります。

	A	B	C	D
児童	45%	46%	7%	2%
保護者	16%	66%	18%	0%

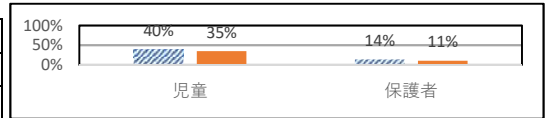
	7月	11月
A	50%	45%
	19%	16%



- ⑤ 進んで先生に聞いたり自分で調べたりして学習しています。

	A	B	C	D
児童	35%	47%	15%	2%
保護者	11%	51%	35%	3%

	7月	11月
A	40%	35%
	14%	11%

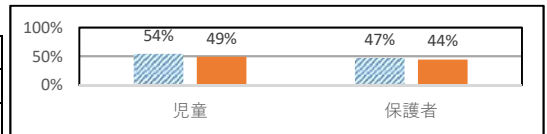


【体育】健やかな生活を実現する。

- ⑥ 決めた量の給食を、残さず食べています。

	A	B	C	D
児童	49%	31%	16%	5%
保護者	44%	39%	16%	1%

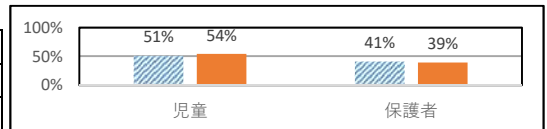
	7月	11月
A	54%	49%
	47%	44%



- ⑦ 外で遊んだり、運動したりしています。

	A	B	C	D
児童	54%	28%	14%	4%
保護者	39%	43%	17%	2%

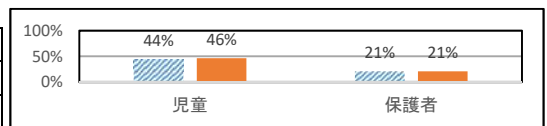
	7月	11月
A	51%	54%
	41%	39%



- ⑧ 自分なりのめあてをもって、運動に取り組んでいます。

	A	B	C	D
児童	46%	38%	13%	3%
保護者	21%	50%	27%	2%

	7月	11月
A	44%	46%
	21%	21%



子供たちの中間評価から、「KTA」を大切にしていこうと、改めてKTAに込められた思いや活動内容を再認識して2学期から取り組みました。数値では、成果は表れていませんが、愛校活動に取り組む高学年の姿や廊下での会釈や挨拶の声等、確実に子供たちがKTAを意識して生活していると変化を感じています。全国学力・学習状況調査(6年生)では、国や県とほぼ同じ正答率だったことから確かな学力は定着していると言えます。しかし、子供の自己評価は低く、授業の様子から「わかった」「できた」と感じている子は多くいるが「深まった」は実感できていないように思えます。今後も個を大切に授業づくりを進めていきます。新型コロナウイルス感染症の影響で、子供たちには色々と制限されることが続いてしまう一年となりました。そんな中、今年度から体育授業で必ず取り入れることになった縄跳びに進んで取り組む子が増え、昼休みにはジャンピングボードで技を磨いています。

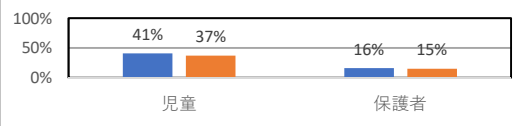
自主自立の基礎を培う三つの場(KTA活動・ドリームタイム・タグラグビー東部カップ)

⑨ 自分の思いをかなえるために、自分から進んで物事に取り組んでいます。

	A	B	C	D
児童	37%	50%	11%	2%
保護者	15%	56%	28%	1%

A

	7月	11月
児童	41%	37%
保護者	16%	15%

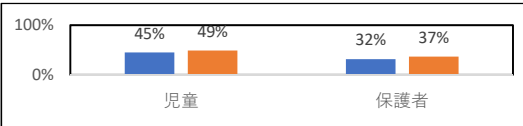


⑩ 火曜日・金曜日のドリームタイム (DT)では、やりたいことを自分で考え、活動しています。

	A	B	C	D
児童	49%	38%	11%	2%
保護者	37%	45%	15%	3%

A

	7月	11月
児童	45%	49%
保護者	32%	37%



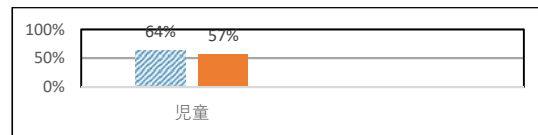
共に学び共に育つ授業

⑪ 自分の考えを、友達に伝えることができます。

	A	B	C	D
児童	39%	41%	17%	3%

A

	7月	11月
児童	43%	39%

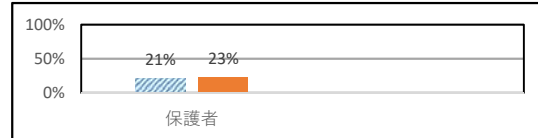


⑫ 授業では、自分なりの考えをもつことができます。

	A	B	C	D
児童	43%	43%	11%	2%

A

	7月	11月
保護者	46%	43%



結果から「自分で考えて」、「自ら進んで」ということを苦手と感じている子が多くいることが分かりました。ドリームタイムでは、子供たちに選択の幅をもたせたり、教師も参加したりすることで、自ら考え行動する力を培っていきます。また校技タグラグビーを大切にされた学校経営を行うために、1年を通して取り組んだり、総合的な学習の時間の中で探究的な学習を行ったりしていきます。コロナ禍の中で、ペア学習やグループ学習等に制限がある中での学習になりましたが、学習用端末を使って、友達に伝えたり、友達と考えを共有したりすることで共に学ぶ学習ができました。

次年度も、「A：強く思う」の評価がより増えるように、また、C・D評価が少なくなることを目指して、徳・知・体の重点目標を意識した教育活動を推進していきます。よろしくお祈りします。

